第 59 回 数理社会学会大会（JAMS59）プログラム

日時：2015 年 3 月 14 日（土）～3 月 15 日（日）
会場：久留米大学　御井（みい）キャンパス
大会委員長：荒井功（久留米大）

1　参加費，懇親会費（セミナーおよびシンポジウムの参加は無料）

大会参加費	一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	1,000 円
	一般（非会員）	5,000 円	学生・院生（非会員）	1,500 円
懇親会費	一般	5,000 円	学生・院生	1,500 円

2　主なスケジュール

	時間	51A	51B	その他
3 月 13 日	15:00～17:00		セミナー	
3 月 14 日	09:30～11:35	第 1 部会	第 2 部会	
	13:00～14:15			萌芽的セッション（1 階ホールおよび 2 階ホール）
	14:30～16:35	第 3 部会	第 4 部会	
	16:45～17:45	総会		
	18:15～20:15			懇親会（学生会館 2 階レストラン「欅」）
3 月 15 日	9:00～10:40	第 5 部会	第 6 部会	
	10:50～12:50	シンポジウム		

3　主な会場（懇親会以外すべて久留米大学御井キャンパス　500 号館 1・2 階）

・受付：エントランスホール．会員控室・抜き刷り交換コーナー：512

4　口頭報告者へのお願い（自由報告）

・部会開始 5 分前に集合して，司会者と打ち合わせをしてください．報告 15 分，討論 10 分です．
・会場設置パソコンを利用できます（Windows8.1，Office2013）．持参パソコンの場合，Windows ノートパソコンが使用可能です．その他の機器使用を希望する場合はご連絡ください．
・ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）．
・配布資料は，報告直前に配布してください．残部は持ち帰るか，抜き刷りコーナーに置いてください．
・（司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください．報告 12 分で 1 鈴，15 分 2 鈴，25 分 3 鈴を鳴らします．

5　ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

・ポスターは大会開会から大会閉会までの間掲示．閉会後は各自で持ち帰ってください．
・最大で 1090×1090mm のスペースが利用可能．報告ごとにポスター位置が指定されています．
・ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です．
・部会開始 5 分前に集合してください．

6　問い合わせ先

研究事務局　〒603-8577　京都府京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学産業社会学部　筒井淳也　E-mail：jams.research[at]gmail.com，TEL：075-466-3484
大会事務局　〒839-8502　福岡県久留米市御井町 1635
久留米大学法学部　荒井功　E-mail：jams59kurume[at]gmail.com，TEL：0942-43-4411（代）

3月13日（金）

11：00～13：00　学会出版企画編集会議[計量本]（521）
12：00～13：00　学会出版企画編集会議[数理本]（522）
13：00～15：00　研究活動委員会（521）
13：00～15：00　編集委員会（522）
15：00～17：00　ワンステップアップ・セミナー（51B）
17：00～19：00　理事会（512）

3月14日（土）

09：00　開場・受付　500号館1階エントランスホール

09：25　開会挨拶　51A　　大会委員長　荒井功（久留米大）

09：30～11：35　自由報告

【第1部会】主観的意識と幸福度　51A　　司会　渡邉大輔（成蹊大）

1	若年層における主観的くらしむき変化の規定要因	狭間諒多朗（大阪大，日本学術振興会）
2E	Occupational Status, Perceived discrimination and Migrants' Life Satisfaction: The case of Japan	Gong Shun（東北大）
3	主観的幸福度の参照点――日本社会全体の中での位置づけ自己評価との関連性	見田朱子（成蹊大）
4	福祉レジームによる家族・親族関係の効果の差異――主観的幸福感に関する国際比較研究から	赤枝尚樹（関西大）
5	なぜ幸福と満足は一致しないのか――社会意識への合理的選択アプローチ	◯小林盾（成蹊大） 見田朱子（成蹊大） カローラ・ホメリヒ（ドイツ日本研究所）

【第2部会】シミュレーションと実験　51B　　司会　堀内史朗（山形大）

1	寛容社会の論理	三隅一人（九州大）
2	Network Centrality, Optimization and Empirical Analysis	藤山英樹（獨協大）
3	単ピラミッド型組織における試行錯誤ダイナミクスモデル	大浦宏邦（帝京大）
4	協調をもたらすのは誰か？――厳格な規範から寛容な規範へ	◯山本仁志（立正大） 岡田勇（創価大）
5	協力関係を拡張する評判生成規範――参加者実験による検討	◯鈴木貴久（総合研究大学院大，日本学術振興会） 小林哲郎（国立情報学研究所）

＊＊＊＊昼食＊＊＊＊

13：00～14：15　萌芽的セッション（ポスター報告）　1階ホールおよび2階ホール

1	雇用流動化の中の女性後期キャリアの変容	池田岳大（東北大）
2	明るい未来は幻想か？――「日本人の国民性調査」における将来の見通しに関するポジティブ・イリュージョン仮説の検討	◯稲垣佑典（統計数理研究所） 前田忠彦（統計数理研究所） 中村隆（統計数理研究所） 朴堯星（統計数理研究所）

3	返済しない借り手を考慮したマイクロクレジットの進化シミュレーション	◯大出祐樹（東京工業大） 中丸麻由子（東京工業大）
4	Estimation of Conditional and Unconditional Quantile Treatment Effects: Evidence from Care Worker's Earnings Distribution in Japan	大久保将貴（大阪大，日本学術振興会）
5	随伴関手による歓待の数理モデルについて——ヤクザへのインタビュー調査を一事例として	大山智徳（九州大）
6	Multiprocess モデルを用いた職歴移動の分析	小川和孝（東京大）
7	領域別不公平感の規定メカニズム再考	金井雅之（専修大）
8	シミュレーションを用いたクラウドファンディングの分析	◯河内文明（芝浦工業大） 武藤正義（芝浦工業大） 中井豊（芝浦工業大）
9	主観的社会的地位と健康の関連に関する検討——パネルデータを用いた分析	神林博史（東北学院大）
10	親からの暴力の経験と親による体罰への支持	◯黒田麻耶（京都大） 池田裕（京都大）
11	ルックスを測定する——調査と実験による計量アプローチ	◯小林盾（成蹊大） 谷本奈穂（関西大）
12	郵送調査回収率に対する地域特性の影響	斉藤裕哉（首都大学東京）
13	同性愛寛容度と宗教——宗教上の文脈が信心深さと同性愛寛容度の関係に与える影響	宍戸梨絵（東北大）
14	大学中退が地位達成に与える影響の検討	下瀬川陽（東北大）
15	社会階層と社会的ネットワークの地域比較分析	菅野剛（日本大）
16	放射線に関する意識の地域差——福島と東京でのウェブ調査の比較から	鈴木努（東北学院大）
17	Which types of homophily have relevance to a congruence on social participation among ego and alter?	鈴木伸生（東北大）
18	推論的ジレンマの生起確率の評価方法について	◯関口卓也（総合研究大学院大，日本学術振興会） 大槻久（総合研究大学院大）
19	教養教育としての社会調査教育——中学生を対象とした授業実践による検討	竹内麻貴（立命館大，日本学術振興会）
20	進化ゲーム理論を用いた不確実な状況下での行動選択の解析	田邊奨馬（東京大）
21	寛容性尺度の構成と妥当性の検討	辻竜平（信州大）
22	家族内相互作用は地位達成に影響を与えるか——「家族についてのアンケート」データの分析	苫米地なつ帆（東北大，日本学術振興会）
23	「国民性に関する意識動向調査」——2012 年度〜13 年度調査の主な知見	◯中村隆（統計数理研究所） 稲垣佑典（統計数理研究所） 前田忠彦（統計数理研究所） 朴堯星（統計数理研究所）
24	婚前交渉観のコーホート分析——変動の要因分解と性別に依存した効果の検証	藤田智博（京都大）

25	階層帰属意識に対する本人と配偶者の地位の影響——JLPS データを用いたパネルデータ分析	藤原翔（東京大）
26	職業の階層性と自職卑下傾向が労働者の主観的幸福感に及ぼす影響の検討	古里由香里（東北大）
27	資源分布が招くユートピア——ハト派支配の安定性	堀内史朗（山形大）
28	社会調査における層化変数の効果に関する検討（その 2）	前田忠彦（統計数理研究所）
29E	A Comparative Study of the Strength of Educational Association between Japan and the United States	◯茂木暁（東京大） 石田浩（東京大）
30	旅行回数格差の時系列・世代間分析	◯山口裕通（東北大） 奥村誠（東北大）
31	高度外国人材の日本への定着志向——留学生人材を事例にして	◯山口塁（立教大） 前田豊（立教大）
32	ブーメラン・キッズ——JGSS-2009LCS を用いた居住歴の分析	吉田俊文（首都大）
33	高齢期の近隣意識の多元性と健康への影響	渡邉大輔（成蹊大）

14：30～16：35　自由報告

【第 3 部会】階層・教育　51A　　司会　石田浩（東京大）

1E	The State, Global Model, and Organizational Population: the Diffusion of Legal Education in China from 1949 to 2012	◯Zixi Liu（The Chinese University of Hong Kong） Kwo-fai TING（The Chinese University of Hong Kong）
2	教育内移動における階層効果とトラッキング——潜在クラスモデルを用いた階層効果逓減現象の検討	濱本真一（東北大，日本学術振興会）
3	階層帰属意識項目の測定内容の解明——潜在クラス分析によるアプローチ	金澤悠介（岩手県立大）
4	「望ましい所得」格差と不平等	◯永吉希久子（東北大） 多喜弘文（法政大） 有田伸（東京大）
5	一般的信頼の計算的・道徳的側面に対する階層要因の影響	大崎裕子（成蹊大）

【第 4 部会】方法　51B　　司会　金井雅之（専修大）

1	「社会」概念前提スタンスへの自戒——落合・デュルケーム・ウェーバー／バカッター・想像の共同体	桜井芳生（鹿児島大）
2	平等化政策志向の計測——具体的な程度を尋ねる調査項目の開発	山本耕資（Hylab LLP）
3	階層移動における安定性と流動化——非正規と無職を含むライフコース移動生起	鹿又伸夫（慶應義塾大）
4	回収率の向上策に関する実験研究——多摩地域住民を対象とした郵送調査の結果から	◯朴堯星（統計数理研究所） 土屋隆裕（統計数理研究所）
5	職業コーディング自動化システム評価（得意／苦手な分類）	高橋和子（敬愛大）

16：45～17：45	総会	51A
18：15～20：15	懇親会	学生会館 2 階レストラン「欅」

3月15日（日）

08：30　開場・受付　500号館1階エントランスホール

09：00～10：40　自由報告

【第5部会】社会関係資本　51A　　司会　三輪哲（東北大）

1	信頼のレベルと信頼の範囲――日本における社会関係資本データの分析から	小藪明生（早稲田大）
2E	Feeling Disconnected: Exploring the Relationship between Different Forms of Social Capital and Civic Engagement in Japan	カローラ・ホメリヒ（ドイツ日本研究所）
3	戦後日本における政治参加の長期的趨勢――エリート対抗型政治参加は増加したのか？	伊藤理史（大阪大，日本学術振興会）
4	Twitterは沈黙の螺旋を加速させるのか――周囲の発言と意見分布認知の関連性	○小川祐樹（立正大） 山本仁志（立正大） 小林哲郎（国立情報学研究所） 鈴木貴久（総合研究大学院大）

【第6部会】ゲーム理論・数理モデル　51B　　司会　鈴木努（東北学院大）

1	Fixation probabilities of strategies for bimatrix games in finite populations	○関口卓也（総合研究大学院大，日本学術振興会） 大槻久（総合研究大学院大）
2	Nash合理性 vs. Maximin合理性――チキンゲームの場合	河野敬雄
3	対称ゲームの類型と問題性	武藤正義（芝浦工業大）
4	コールマン・ボートとマクロ・ミクロ・リンク	落合仁司（同志社大）

10：50～12：50　　シンポジウム　「排外主義への社会学的アプローチ」　51A

オーガナイザ	田辺俊介（早稲田大）
司会	樽本英樹（北海道大）
登壇者	佐藤成基（法政大） Kim Jae-Woo（Chonbuk National University） 田辺俊介（早稲田大）
コーディネータ	元治恵子（明星大）

12：50　　閉会挨拶　51A　　大会委員長　荒井功（久留米大）

（備考）

1　○印は登壇者を示します．E は英語による報告です．The E symbol stands for English presentations.

2　「抜き刷り交換コーナー」を設けます．論文，報告書，マニュアル，自作ソフトなどを置けます．事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます．

3　ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です．詳細はセミナー案内をご覧ください．定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします．

4　ベビーシッターはご案内しておりません．必要な方はご相談ください．

5　大学敷地内は全面禁煙となっております．ご理解ご協力を願いたします．

6　開場校では無線LANの使用が可能です．希望者は受付に申し出てください．

（変更履歴）

2015 年 1 月 31 日　暫定版プログラム

2015 年 2 月 12 日　大会前確定版プログラム

2015 年 3 月 16 日　大会後確定版プログラム